

- *前提:
- ①次ページ上段:2011年仙台開催ポスターと、次ページ下段:2012年東京開催ポスターを比較して、本文を参照ください。
 - ②2011年のuVALUEコンベンションから、2012年に、Innovation Forumとイベント名称を変更したため、名称は異なっていますが、毎年継続している同一のイベントです。
1. 2011年仙台開催の経緯と組み立て方
- ①経緯
毎年7月に、東京でB2B向け企業プライベートイベントを開催していましたが、2011年3月11日の震災により、この年は7月の東京開催を中止し、10月に仙台で開催することを決定。
 - ②組み立て方
その際に、毎年B2B形態のまま仙台開催するのでは、目的・趣旨に合わないため、次ページ上段のように、広く市民向け(B2C)としての「共にあるこう未来をつくろう」東北みらいづくりWeek with Hitachi、のカサを掲げ、その中に、B2Bイベント(同下段罫囲み内:Hitachi uVALUECONVENTION SENDAI)を内包する構造としました。
2. 仙台プログラムの特徴
- ①本物であること
真夏の8月に、石巻市立橋浦小学校の全生徒たちの参加のもと、ロケを行い「きぼうをつみあげよう」をテーマとした映像を制作し、イベント会場(仙台国際センター)で放映。また、ガチで募集し、中高校生弁論大会を開催、その中には、震災時に病院で被災した従業員のご子息の参加もあり、会場に感動を与えました。
 - ②親近感
主催者らしく、テレビでおなじみのふしぎ発見の草野仁氏、竹内海南江氏によるトークショー、「この～木何の木、気になる木」の日立交響楽団と、夏川りみ、玉城千春のコラボコンサート、バスケットボールの日立サンロッカーズによる、子供たちへの1日指導、などを盛り込みました。
 - ③子供たち・ファミリー
ウィークデイのため、子供たち・ファミリーも参加できるような夜の時間帯に、サカナくん、野口健、他の各氏によるトークショーを開催しました。また、「東北グルメ屋台」と称して、東北各地のグルメを集め、講演などの合間に、食を楽しみました。
3. 総括
- 以上のように、同じイベントでも、B2BイベントとB2Cイベントでは、イベント構成が大きく異なってきます。その際に、toBのみ、toCのみ、と分けるだけではなく、今後、融合型、とでも言うべき形態も一つのソリューションとして出てくるのではないかと想定します。その際の組み立て方の参考になれば幸いです。

